

フォーカスシステムズと松久産業 パケットログ収集・保管装置販売等で業務提携

国産ハード・ソフトで全てのパケットログの収集・保管を可能に

株式会社フォーカスシステムズ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森 啓一）は、松久産業株式会社（本社：福井県福井市、代表取締役社長：松原 一彦）からパケットログ収集・保管装置（監視・警告機能等搭載済み）製品名「サイバードリアン パケット（略称CGP）」（商標登録出願中）の供給を受け、機器販売および付帯する調査・解析サービス事業を構築してゆくことを発表いたします。

このパケットログ収集・保管装置は、内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）が示す「平成23年度政府機関における情報システムのログ取得・管理の在り方の検討に係る調査報告書」（以下「報告書」）の要求事項を満たす機能を有しており、既存のネットワーク構成に影響を与えることなく任意の位置に設置し、1年以上の全パケットログ等を安全に収集・保管できます。また本製品は、松久産業がハード組立、OSおよびソフトの開発、組込等の製造を行う“国産”製品であるため保守やサポートを迅速に実施できます。本製品は、フォーカスシステムズが官公庁等からのオプションを含むハード、ソフトの要求仕様を松久産業にオーダーして製造し、販売および保守サービスを行います。なお、収集・保管したログの調査・解析等のサービスについては、2016年4月からの開始を予定しております。

製品・サービス等の概要

「サイバードリアン パケット（CGP）」は、コンパクトで静粛性、安定性、低消費電力に優れたハードディスクを搭載したパケットキャプチャによるネットワーク・フォレンジック装置です。ミラーリング専用装置を任意の位置に設置することによりこの装置を通過（入・出）する全てのパケットデータを漏れなく取得し、大容量・高性能の専用記憶装置に蓄積・保管できます。また、搭載しているソフトウェアにより取得データの保管は、暗号化や秘密分散、タイムスタンプ、ハッシュ値確認等で高い保全性と真正性を確保でき、改竄や漏洩リスクを防止しています。監視や警告機能等の基本機能以外にユーザーの各種カスタマイズ要求に対応した機能を追加搭載して製品供給を行います。

※搭載する基本ソフトは松久産業が開発した「ネットガードリアン パケット(NGP)」で、これにオプション機能を追加

価格につきましては、ユーザーの要求仕様に応じた製品供給を販売方針としているため見積ベースの提示となりますが、これまでの類似市販製品に比し、「報告書」が求める性能を満たし、かつ安価で提供できるものとなります。

収集・保管したログの調査・解析等のサービスにつきましては、今後、具体的なサービス内容や価格を検討し、2016年4月から本サービスを受注できるよう情報公開準備を進めて参ります。

【問い合わせ先】

株式会社フォーカスシステムズ
東京都品川区東五反田1-4-1 ハー五反田第2ビル3階
新規事業推進室 橋詰、角
TEL 03-5420-3659、FAX 03-5420-3634
E-mail: prom@focus-s.com

松久産業株式会社
福井県福井市片山町第55号20番地
TEL&FAX 0776-98-3522
E-mail: sales@matsuhisa-kk.com